

学習スペースを設けることについての意見書

私たちは、昨年の10月に市議員の方々の協力を得て校内で行った、市長選の模擬選挙に際し、その選挙公約について、先輩方や大人の方と意見を交わす中で、選挙に対する姿勢だけでなく、現在自分たちが暮らしている地域について考える機会にもなりました。そして、今回の模擬選挙で挙げられた公約の中で、実際に地域の生活に生かせるものがあるのではないかと感じました。

今回の公約の中で、私たちが目を留めたのは「学習」についてです。学生である私たちは、学校や家以外での学習のできる環境はとても貴重なものです。周囲が学習に打ち込む環境であれば、学習以外の誘惑に負けることも少なくなります。現在でも、アーラやマーノ、図書館などの施設を利用する人が多くいます。しかしながら、席が足りない、夜間に学習できる場所が限られている等の理由から、利用したくても出来ていない人も少なくありません。そこで、既設の公共施設の空いているスペースを学生が利用しやすいように予約制度や利用料金を改善する、或いは地元企業の空いている会議室等を学習空間として利用させていただくなどして、学習のできる場所を新たに設けることを希望します。

以上のことから、次の一点について、要望します。

記

- 1 市内に、学生の利用しやすい学習スペースを設けるように支援すること。

令和2年2月5日

岐阜県可児高等学校  
1年 奥村 律香

可児市議会 議長 伊藤 壽 様